



# くすのき



学校のシンボル  
くすの木

## 「聞き上手」は「安心感」

校長 菊地 勇

青葉若葉の時期となり、木々の緑が色濃くなってきました。入梅の時期も気になるころですが、今年の水泳学習は、お知らせした通り、「水泳授業の民間委託化事業対象校」として本年度から、市内スイミングスクールの室内プール（バスで移動しています）にて実施しております。天候や気温に影響されずに実施することができます。また、担任等教員に加え、スイミングスクールのインストラクターが各グループについての指導となりますので、子どもたちは専門的な技能指導を受けることができます。

さて早いもので、進級進学をしてから約2か月がたちました。担任やクラスとも慣れてきているところでしょうが、疲れもたまってくる頃ですし、そうすると友達とのトラブルも出てくるかもしれません。

体の疲れは、休養を取ることによって回復できます。心の疲れって、どうすれば癒されるのでしょうか？私の考えですが、「話を聞いてもらい、共感してもらおうこと」が心の栄養となって、癒されていくのかなと思います。子どもは、いい子になりたいし、褒められたいはずですが、でも、そう思っても物事はそう簡単にいかないのは、大人は良くわかっていますよね（私だけ？かもしれませんが）。一生懸命やっているのにうまくいかなかったり、やり方が良くわからなくてうまくいかなかったり、子どもたちはショックを受け、傷ついているかもしれません。

そんな時は、「もっと頑張れ」「気合いだ」とかの声掛けではなく、傷ついている時こそ、行き詰まっている時こそ、「お子さんの気持ちや思い」を受け止めて、理解してあげてください。自分を受け入れて、共感をしてもらい、肯定してもらおうことで、「うまくいなくても大丈夫なんだ」「うまくいなくても頑張っていることを認めてくれるんだ」とお家の方から安心感をもらえるはずですよ。

獲得した「安心感」は、次に向かう「意欲」となって心が充実してきます。また、与えてもらった「安心感」が人に優しくできるのだと思います。だから、我々大人は「安心感」を与えられるような「聞き上手」になることが大切だと考えています。

さて、話はそれますが、子どもの話を聞いていて、意味が分からないということがありましたら、ぜひ、担任に聞いてください。子どもたちは悪気はないと思いますが、起きた事の前後の説明や重要なポイントの説明が抜け落ちてしまうことがよくあります。そうすると親としては、意味がわからず、心配なことが起きているの？と早合点してしまう場合があります。学校で起きたことで、子どもの説明だけではわからないときは遠慮せずに聞いてください。とにかく、担任に尋ねることが大切です。

教師も保護者も、「聞き上手」で子どもたちに「安心感」を！

6月は、いじめ撲滅強化月間です。本校では、いじめの未然防止のために、以下のようなことを取り組んでおります。①児童啓発ポスターを活用した、いじめ撲滅に向けた「学級スローガンづくり」②児童会による、いじめ撲滅を目指したキャンペーンの実施③校長による講話朝会（6月1日実施予定）④「いじめ防止指導事例集」を活用する等、いじめの未然防止に向けた学級担任による指導⑤学校だよりによる家庭や地域への広報

ぜひ、「聞き上手」で子どもの話に耳を傾けてみてください。何かありましたら、すぐに担任にご相談ください。全力で組織的に対応します。

先日の引き渡し訓練では、ご協力ありがとうございました。帰りに通学路点検をしていただいた結果、何かお気づきの点がありましたらお伝えください。また、下校の仕方について、地域の方々から心配の連絡が届いています。横に広がって歩かない、敷地（駐車場等）に入らない、交差点での飛び出しをしないなど安全面の指導をご家庭からもお願いします。